

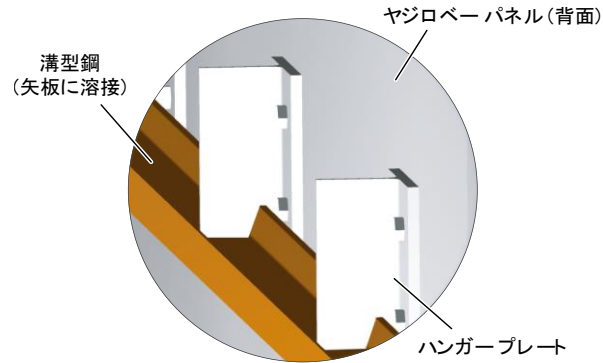
# ハンガー式ヤジロベー工法

## ◆ハンガー式ヤジロベー工法とは

矢板、シートパイプ等にプレキャストコンクリートパネルを取り付ける設置方法です。  
自立式護岸・土留など、壁面にプレキャストコンクリートパネルを用いる工事に使用できます。

### 従来の問題点を改善しました

- ・高さ調整のため、取付が完了するまで吊った状態を維持する必要があったこと。
- ・隣接するパネルが不整列な場合、前後左右の調整作業が容易ではなかったこと。
- ・調整箇所が多く施工日数が必要であったこと。

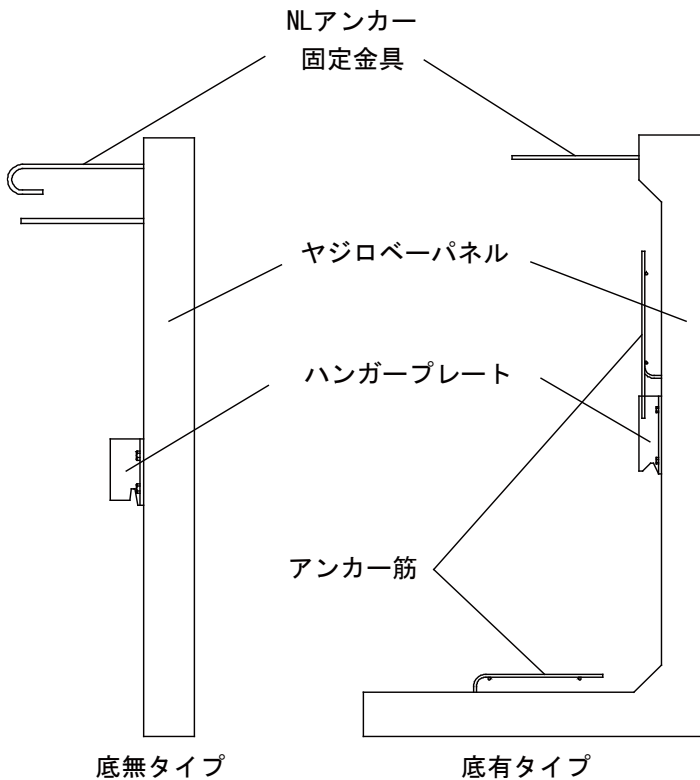


## ◆特徴

ハンガープレートを取り付けたヤジロベーパネルを、設置構造物の同位置に取り付けた溝形鋼等へ落とし込むことで、設置構造物との間隔とパネルの上下位置を確定します。

ハンガープレート(引っ掛け板)を介して溝形鋼等にぶら下がっているため

- ・横方向へスライドさせてパネルの左右位置を調整することが容易です。
- ・ヤジロベーパネルの面通りや壁面勾配を容易に決定できます。
- ・クレーンの効率が上がり施工性が向上します。



ヤジロベーパネルの寸法につきましてはご相談ください。  
ハンガープレートは、ヤジロベーパネルの重量によりサイズが変わります。

※詳細については 各製品/工法カタログをご参照、またはお問い合わせください。  
記載内容はすべて参考として取り扱いください。また予告なく内容を変更する場合がありますのでご了承ください。